

給食いばらき

第 56 号

平成 30 年 10 月

編集、発行

公益財団法人 茨城県学校給食会
〒319-0323 水戸市鯉淵町2508番の52
電 話 029-259-0011
F A X 029-259-7721
ホームページ <http://www.igk.jp>
E - M a i l ibaraki@igk.jp



「鉾田市メロンの日」給食
鉾田市立大竹小学校 ※ 7 ページ関連記事

目 次

就任あいさつ	2~3
平成30年度つくろう料理コンテスト	4
平成30年度つくろう料理コンテスト入賞者	5
平成30年度新規採用栄養教諭紹介	6
地域の特色ある自慢献立	7
早寝 早起き 朝ごはん運動推進	8~9
給食会事業	10
平成30年度学校給食会取扱い物資のご案内	11
茨城県学校給食会事務局組織図等	12

未来を担う子どもたちの
健やかな成長をサポートします



IGK … Ibarakiken Gakkou Kyusyokukai

◎ 回覧をお願いします。本誌は、給食会ホームページに掲載しています。

就任あいさつ



「子どもたちの学校給食を皆さんと共に支える」

理事長 山崎 裕

明治時代に石塚左玄により提唱された食育の考え方は、平成17年に制定された食育基本法に「知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と踏襲され、特に子どもたちに対する食育は、心身の成長や人格の形成に大きな影響を及ぼす大切なものとされてきました。

さて、本県では早くから公立小・中学校の全校で学校給食が実施され、そのほとんどが完全給食（パン・米飯・麺＋ミルク＋おかず）を提供しています。これは、学校給食の実施に全国に先駆けて取り組まれた設置者と給食関係者の不断の努力の成果と感謝に堪えません。

本会では、学校教育活動の一環として行われる学校給食が、県全域で円滑に実施されるよう、基本物資（パン・米飯・麺）を主とした学校給食用物資の供給はもとより、衛生管理や調理技術等に関する研修会実施のほか、学校給食への関心や理解を得るための普及啓発事業などを実施し、皆様と共に学校給食の発展充実に努めているところです。

少子化が進む中で、本会の運営も、基本物資委託加工工場や一般物資取扱高の減少、給食費の公会計化への対応、収支相償を見据えた会計処理など、喫緊の課題を抱えております。幸い本県は農業産出額全国第2位を誇る農業県でもあり、学校給食で子どもたちに本県の美味しい農産物等の提供ができる環境にあります。低廉な価格提供は勿論ですが、地産地消の商品開発においては、関係者のご協力等をいただき量から質への転換も必要と考えています。このほか、ハサップへの対応、消費税率の引き上げなどもありますが、一つ一つを払拭して活路を見だし、子どもたちへの安全で安心な学校給食の提供を第一義に取り組んでいく所存です。

今後とも、本会が学校給食関係者をはじめ保護者や地域の方々に信頼されるよう、各事業の充実に努めながら学校給食をサポートしてまいりますので、引き続き皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



「就任あいさつ」

常務理事 園部 隆

7月1日付で常務理事に就任いたしました。前 関常務理事同様よろしく
お願いいたします。学校給食会の使命である安全安心な給食物資の安定供給
と食育支援事業を推進するとともに、公益財団法人として責任ある法人運営に努めて参ります。

本県の未来を担う子供たちの笑顔のために、さらなる学校給食の充実に努力して参りますので、関係各位のご指導ご支援を改めてお願い申し上げましてご挨拶と致します。



「学校給食の充実と食育の推進に向けて」

茨城県教育庁学校教育部保健体育課長 益子 雄行

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上を図ることを目的としております。本県の公立小学校、中学校、特別支援学校、夜間定時制高等学校における平成30年度の学校給食実施率は100%です。今年度は、県内に160名の栄養教諭を配置し、食に関する指導の充実と日々の給食管理に努めていただいております。

学校給食には、大きく分けて2つの役目があります。その一つは、学校給食を「生きた教材」として、給食の時間はもとより、各教科や特別活動等において活用することです。学校給食に地場産物を活用したり、地域の郷土食や行事食を提供したりすることをおして、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深めることができるなど高い教育効果が期待できます。本県の食に関する指導重点施策「望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力をはぐくむ学校給食の充実」を踏まえ、各学校におかれましては、管理職のリーダーシップのもと、校内の体制を整備し、食育の一層の推進をお願いいたします。

もう一つは、栄養バランスのとれたおいしい、安心・安全な給食の提供です。具体的には、食中毒や異物混入等を未然に防ぐことや食物アレルギー等へ対応した給食作りです。学校給食に係る皆様方には、日頃から安心・安全な給食の提供に万全を期していただいておりますことに感謝申し上げますとともに、事故等が発生した場合に備えて、対応マニュアルの不断の見直しと教職員及び関係者の共通理解を改めてお願いいたします。

保健体育課では、県の関係部署及び茨城県学校給食会、茨城県学校栄養士協議会等の関係機関と連携して以下の事業等を実施し、今後も学校給食を通じて健全な食生活を実践する児童生徒を育成してまいります。

【保健体育課が実施している主な事業等】

1 児童生徒の食育推進に関する事業等

(1) 食に関する指導の充実

- ・「茨城県の特色を生かした食に関する副読本」（平成26年2月茨城県教育委員会）の活用
- ・栄養教諭、給食主任、市町村教育委員会担当者等を対象とした研修会の開催

(2) 家庭や地域と連携した食育の普及・啓発活動

- ・「つくろう料理コンテスト」の開催（平成30年度は8,649点の応募）
- ・「いばらき食育推進大会」の開催（平成31年1月25日茨城県立県民文化センターで開催予定）

2 給食管理や設備管理に関する事業等

- ・学校給食栄養報告（栄養摂取状況を把握するための調査）
- ・学校給食衛生管理実地研修（衛生管理の向上を図るための調査と講習会）

平成30年度「つくろう料理コンテスト」入賞おめでとうございます

茨城県教育委員会、茨城をたべよう運動推進協議会、公益財団法人茨城県学校給食会主催による、つくろう料理コンテストが開催されました。小・中学生及び高校生を対象に茨城県産の食材を使った「休日の朝食」をテーマに献立を募集し、応募総数 8,649 点の中から選ばれた 26 人が 8 月 22 日の第二次審査（調理審査）に臨んだ結果、以下の通り決定しました。

最優秀賞

テーマ「茨城県産 de みんなスマイル朝ごはん」



日立市立
坂本小学校
6年 柴田 亮



「料理が僕に教えてくれた事」

僕は毎日練習したかったので、母は材料を買って、兄は毎日文句も言わずに笑顔で食べてくれました。僕は練習が楽しかったけれど、今思うと兄も母も辛かったと思います。それでも美味しい！と食べ続けてくれた家族の優しさに感謝です。時間内に終える事ができて練習のすべてを発揮できたので十分満足でしたが、最優秀賞に選ん

でもらえた時は夢のようでした。

僕はこの賞は自分と家族と先生とみんなの応援があってもらえた賞だと思っています。茨城には、たくさんの食材があって、それを作ってくれる人がいるので、食べてくれた人にも、その食材を作っている人にも喜んでもらえるような料理人になりたいです。

テーマ「湊からのめぐみいっぱい朝ごはん」



ひたちなか市立
勝田第一中学校
2年 植田 壱哉



「茨城の食材を探して…」

僕は、今年の料理コンテストの献立の材料を求めに、ひたちなか市内をめぐりました。ひたちなか市特産のバインベリーをつんできたり、那珂湊漁港の市場で魚をさがしたり、スーパーで茨城産の食材を探したりと、ほとんどの献立の材料を茨城県産でそろえることができました。茨城県はたくさんの食材があり、改めて素晴らしい県だと心

から思いました。

調理では、野菜の切練習を何回も何回もしました。その結果、最優秀賞をとれたので、うれしかったです。

このコンテストを通して、茨城県の良さを感じることができました。これからも茨城県の良さを料理を通して発信していきたいです。

テーマ「私のニコニコ朝ご飯」



東洋大学附属
牛久高等学校
3年 片桐 未唯



「高校生最後の夏の思い出」

今回3回目の応募で初めて一次審査を通過し、「最優秀賞」を頂くことができ、とてもうれしかったです。練習では時間配分がうまくいかず、材料を焦がすなど何度も失敗をしてきました。しかし、当日は練習の成果を十分に発揮し、満足のいく仕上がりとなりました。

レシピを考えるにあたって、素材の味を意識しながら意外性のある料理を考えるのは、とても難しいものでしたが、家族や先生方のアドバイスを取り入れることによって、より良いレシピを作ることができました。

今回の経験を活かして、自分だけでなく家族のためにも栄養バランスのとれた健康的な食事作りを実践していきたいと思っています。



平成 30 年度 つくろう料理コンテスト入賞者

	結果	学校名	学年	氏名
小学生の部	最優秀賞	日立市立坂本小学校	6	柴田 亮
	優秀賞	水戸市立見川小学校	6	佐々木瑠音
	優秀賞	ひたちなか市立佐野小学校	5	政 美羽
	優秀賞	ひたちなか市立長堀小学校	6	鈴木 美緒
	優良賞	ひたちなか市立長堀小学校	6	真家 晴輝
	優良賞	ひたちなか市立長堀小学校	5	袖山亜彩美
	優良賞	ひたちなか市立長堀小学校	6	海老澤莉乃
	優良賞	大洗町立南小学校	6	田山 桂大
	優良賞	行方市立玉造小学校	6	川島 和奏
	優良賞	銚田市立銚田小学校	6	山口愛紀子
中学生の部	最優秀賞	ひたちなか市立勝田第一中学校	2	植田 壱哉
	優秀賞	行方市立北浦中学校	3	茂木 愛里
	優秀賞	東洋大学附属牛久中学校	3	片桐 匠登
	優秀賞	江戸川学園取手中学校	1	藁科 快成
	優良賞	ひたちなか市立佐野中学校	2	小田麻祐子
	優良賞	笠間市立友部中学校	2	安東 純心
	優良賞	石岡市立石岡中学校	2	小林 新菜
	優良賞	つくば市立高山中学校	2	森 勇貴
	優良賞	下妻市立下妻中学校	3	高松 美生
	優良賞	東洋大学附属牛久中学校	3	助川 竣也
高校生の部	最優秀賞	東洋大学附属牛久高等学校	3	片桐 未唯
	優秀賞	県立下妻特別支援学校	2	柳澤 拓実
	優秀賞	大成女子高等学校	3	吉田 夏奈
	優良賞	県立並木中等教育学校	5	林 涼香
	優良賞	県立那珂湊高等学校	3	大平 朋生
	優良賞	土浦日本大学高等学校	1	谷内 美怜



平成 30 年度新規採用栄養教諭紹介

今年度、栄養教諭として仕事を始められました9人の皆様を紹介いたします。その熱い気持ちを箇条書きにいただきました。

- ① 栄養教諭として子ども達に伝えたいこと
- ② 私が子どものころに食べた給食 No.1

白石 有紀

筑西市立大村小学校

- ① 食べることの大切さや楽しさ
 - 食べ物や食物の生産等に関する感謝の心
 - 食事のマナーや食文化
- ② カレー



石川 沙妃

茨城県立水戸盲学校

- ① 体と心をつくる食事の大切さ
 - 食べる楽しさと食べ物を知る楽しさ
 - 食事を通して広がる人とのつながり
- ② けんちん汁
 - 磯香和え



中井 晴香

龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校

- ① 食べることはがんばる力、生きる力につながるとても大切であるということ
 - 毎日当たり前のように食べている食べものは、たくさんの人に支えられていて感謝の気持ちを忘れてはいけないこと
 - 食はおいしい・体にとって大切、なだけでなく、面白く楽しいものということ
- ② ちくわの磯部揚げ



宇野 詩織

牛久市立下根中学校

- ① 食事の楽しさと重要性
 - スポーツと栄養の関わり
- ② カレーうどん



藤原 瑛理

茨城県立水戸高等特別支援学校

- ① 卒業後、社会人として健康で働き続けるためには「食」が大事であること
 - 栄養バランスのとれた食事・適切な運動・休養及び睡眠が必要であること
 - 「いただきます」「ごちそう様」の意味を理解し感謝する心をもってほしいこと
- ② 若布ご飯とさばのみそ煮



大和田 紗

桜川市立雨引小学校

- ① 食べることのすばらしさ
- ② 具材と愛情がたくさん入ったカレー



宮崎 麻衣

石岡市立柿岡小学校

- ① 食べ物の不思議、おもしろさ
 - 食から広がるコミュニケーションの楽しさ、すばらしさ
 - 心身ともに基盤をつくる今だからこそ、「食べる」を大切にしたい理由
- ② かにグラタン



小野 こそすず

神栖市立柳川小学校

- ① 食べることの楽しさ、素晴らしさ
- ② ビビンバ



渡部 陽菜

高萩市立東小学校

- ① 季節の食や地域の食、仲間との共食など、食の楽しさ
 - 食は自分の生涯にわたる心身の健康に大きく関わっているということ
 - 食に関わる人々や動植物の命に感謝する心
- ② ドライカレー



地域の特色ある自慢献立

鹿嶋市 しらすを使用した給食（かしまなだしらすのパスタ）



鹿嶋市には汐菜キャベツやピーマン、タカミメロンなどの農産物が収穫され、近くにある鹿島灘漁港では、鹿島灘はまぐりや鹿島タコ、しらすなどの水産物が水揚げされています。鹿嶋市の給食では、毎月19日前後に「茨城・鹿嶋食材の日」を設定し、茨城県や鹿嶋市産の食材や郷土料理を取り入れた献立としています。

食育月間である6月には、鹿嶋市内の幼稚園・小中学校の給食で、鹿島灘産のしらすをたっぷりを使用した「かしまなだしらすのパスタ」を提供しました。鹿島灘産のしらすを使った献立は子どもたちや先生方からも大好評のメニューで、「おいしい！」「塩加減がちょうどよかった！」「また食べたい！」との声をたくさんいただきました。2学期にもしらすを使用した献立を提供する予定となっています。これからも学校給食を通して、食べ物の旬や美味しさ、地産地消の大切さを伝え続けていきたいです。



銚田市 学校給食メロンの日

銚田市は温かな気候と肥沃な大地を利用したメロン栽培が昔から盛んで、産出額は日本一を誇っています。市では地産地消の取組の一環として、また、子どもたちが地域の特産物に誇りをもち、農業への理解を深めてもらいたいという思いから、6月6日の「銚田市メロンの日」にあわせて、学校給食でメロンを提供しています。これは、市内のJA茨城旭村とJAほこたからアンデスメロン512玉を無償でいただいたものです。アンデスメロンは病気に強い「作って安心」、価格が手頃でおいしい「食べて安心」の「安心ですメロン」がその名の由来になっており、これは、安全で安心・おいしい学校給食に、まさに適しています。「メロンの日」当日、ひとり1/8切の大きなメロンを前に、子どもたちの笑顔もこぼれました。願わくは、地域の特産物を食べながら郷土愛を育み、アンデスメロンのように、病気に強く、健康でたくましい子に育ててほしいものです。



「潮来二中 みんなで取り組む食育・生活習慣改善プロジェクト」

潮来市教育委員会 生涯学習課 社会教育主事 根本 聡美

潮来市立潮来第二中学校では、「早寝・早起き・朝ごはん」推進校として、「家庭」や「地域」と連携しながら、「食育・生活習慣改善」を中心に事業を実施しています。生徒一人一人が「生活習慣」や「食生活」を見直し、改善することで、よりよい中学校生活を送れるようにすることを目的として、学校全体で取り組んでいます。

主な取組の一つとして、7月に「早寝・早起き・朝ごはん」に関する授業を行いました。各学年の実態に応じたテーマを設定し、専門的な知識をもっている栄養教諭と管理栄養士をゲストティーチャーとして招き、授業を実施しました。

1年生は「朝食のレベルをアップしよう」をテーマとして、毎日の朝食の内容を見直し、現在食べている朝食に何をプラスするとレベルアップした朝食になるか真剣に考えました。2年生は「食事がカギ！引き出せ！君の力」をテーマとして、部活動で勝つための体作りと、スポーツをする時に必要な栄養や効果的な食事内容、理想的な栄養の摂取方法について学びました。3年生は「受験を健康に過ごすために食生活を考えよう」をテーマとして、各自で「食事面」や「生活面」について振り返りながら、生活習慣の問題点を把握して、今後自分がどのように生活していったらよいか改善策を考えることができました。

今後の活動として、「朝食作り講習会」や「食育に関する講演会」が予定されています。更に、「学校」「家庭」「地域」の三者が【連携・協力】しながら、地域全体の「早寝・早起き・朝ごはん」運動の機運が高まるよう積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



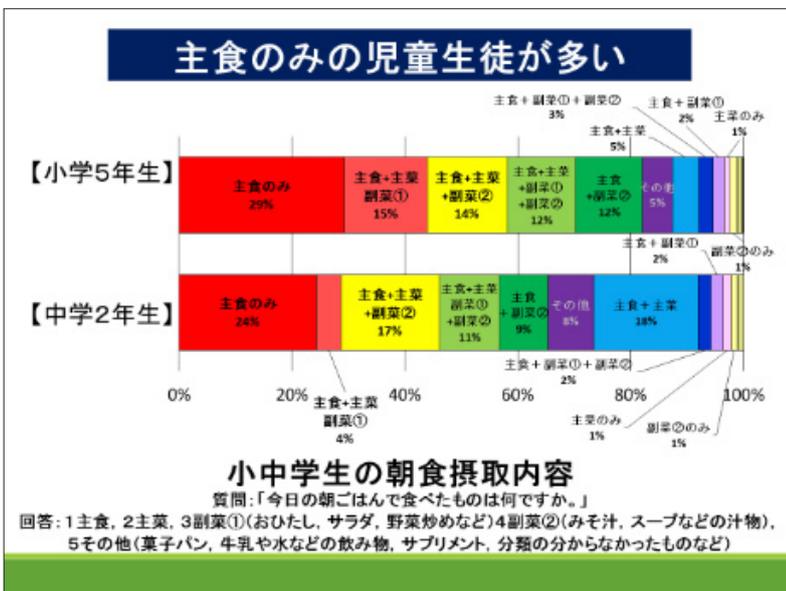
1年生の授業の様子



2年生の授業の様子



3年生の授業の様子



「茨城県小中学生の

本協議会の研究部では、平成26年度に茨城県教育委員会が実施した「食生活アンケート」を基に、県立医療大学の山口忍先生と連携して朝食に関する研究を行っています。

第15回茨城県栄養健康改善学会では「茨城県小中学生の朝食内容と心身の健康状態の関連」について発表しました。朝食内容は、「主食のみ」(小学生29%、中学生24%)が最も多いと

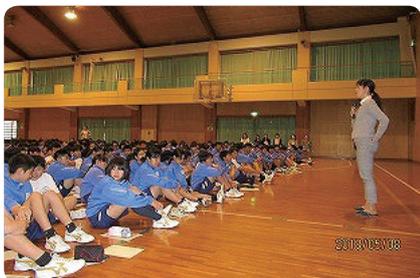
平成30年度「早寝早起き朝ごはん」推進校として

つくば市立豊里中学校 養護教諭 宮本 昌子

小中一貫教育の豊里学園では、自己管理能力の育成につながる「早寝早起き朝ごはん」を平成25年度より推奨してきた。そこで、本校では国立青少年教育振興機構「早寝早起き朝ごはん推進校」に応募し、事業案が採択されたことにより、今年度「生活習慣の確立から始める“夢”実現プロジェクト～学力向上及び体力・競技力向上をめざした健康づくり～」をテーマに掲げ、「小中一貫教育」と「スポーツ栄養」の視点を加えた「早寝早起き朝ごはん」推進活動に取り組むこととした。

今年度、筑波大学体育科学系運動栄養学 麻見直美先生にご協力いただき、体組成測定や食事調査の結果に基づき、講演会「なりたいたい自分になるために、どう食べる？」を実施した。本校は、約8割の生徒が運動部やクラブチームに所属し、県大会を目指す部が多い学校であり、生徒達は日々「上手になりたい」「勝ちたい」と切磋琢磨している。講演会では、食事をしっかり食べることで競技力や学力の向上につながる事、そして「なりたいたい自分になるために必要な3つの要素」として「栄養・運動・休養」、つまり「早寝早起き朝ごはん」が重要との科学的根拠に基づいた話をしていただいた。また、豊里学園保護者対象の講演会には、管理栄養士 川端理香先生をお招きし、多彩な栄養サポートの経験から、日々の実践につながる具体的な講演であり、参加者からは大変好評であった。

夏季休業中には、JAつくば市豊里支店から地場産の農産物の提供、野菜ソムリエプロ 田野島万由子先生、つくば市食生活改善推進員の皆様にもご協力いただき、実践編として部活動単位の食育講習会を実施した。今後は、生徒自身が学んだ知識を取り入れ、「早寝早起き朝ごはん」の着実な定着化を目指していきたい。



講演会



食育講習会



朝食内容と心身の健康状態の関連】

茨城県学校栄養士協議会 会長 小神野あや子

いう結果でした。健康状態との関連では、「何もする気にならない」は主食欠食群で高く、「イライラする」「よく眠れない」は主菜欠食群で高いなど、朝食内容によって関連項目が異なりました。

茨城県の小中学生は、朝食内容の充実が課題であり、「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」は、心身の健康を保つ上で大切なことを確認しました。そこで、朝食内容をステップアップするための指導資料を作成中です。ぜひ、各校で担当栄養教諭等に作成した資料を活用した指導を依頼してください。

【考察】

朝食の摂取内容によって、心身の健康状態との関連項目が異なることがわかった

特に主食の摂取で健康状態のいい児童が多い

➡朝食欠食者は、まずは主食を摂ることから始める

➡品数を増やすことが大切

主食

主食＋主菜

主食＋主菜＋副菜

主食＋主菜＋副菜＋汁物

→朝食内容をステップアップすることが重要

給食会事業

◆学校給食管理システム講習会

栄養教諭、学校栄養職員を対象に、本会が開発した学校給食管理システムソフトウェアの使用に関し、業務の遂行に必要な知識等を習得することを目的として開催しました。



◆委託加工工場の衛生管理

本会は、児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するため、委託加工工場における経営状況、衛生状況等を客観的に確認、判断することを目的とし、工場施設設備の点検や営業経営者との懇談、施設内の拭取り検査を行い、衛生管理の支援を継続して実施しています。



◆親子料理教室（牛乳料理）

親子で牛乳について学び（講話と実習）、ひとつの食材としての牛乳から多岐にわたる料理を作ることによって料理の楽しさを体感し「食」への関心を深めることを目的とし開催しました。



◆パン技術講習会

学校給食関係者を対象に、学校給食パンに関する基礎的な知識及び製パン技術の理解を得るとともに、品質向上を図ることを目的とし開催しました。



●●● 新しくなりました ●●●

調理室

昭和50年から使用してきた調理台が、新しく入れ替わりました。



貸出教材

食物アレルギーの絵本が新しく加わりました。



平成30年度 学校給食会取扱い物資のご案内

県産原料使用商品

ローズポークキャベツ
メンチカツ



メーカー 高久 規格 50g・60g

茨城県産大豆使用
カット油揚げ



メーカー 山一食品 規格 500g

茨城県産和梨缶



メーカー 高昌食品 規格 1号缶

平成30年度9月～12月重点商品ほか

いかフリッター
(オキアミ入り)



メーカー カセイ食品 規格 約20g

カミカミタコメンチ



メーカー ビアット 規格 40g・50g

れんこん入り
熟鶏とうふハンバーグ



メーカー イセ食品 規格 50g・60g

南瓜カマンベールチーズ
コロッケ



メーカー トーシツフーズ 規格 50g・60g

ねぎ味噌包子トレー



メーカー 隆峯 規格 25g

和紙手巻き海苔/味付海苔
いきいき茨城ゆめ国体/ゆめ大会



メーカー 岡田海苔 規格 手巻 1/4カット4.56枚
味付 10切4枚

下半期分物資検討会選定品

もうかバジルパン粉焼き



メーカー オーズ 規格 40g・50g

茨城県産豚肉
メンチカツ Fe 強化



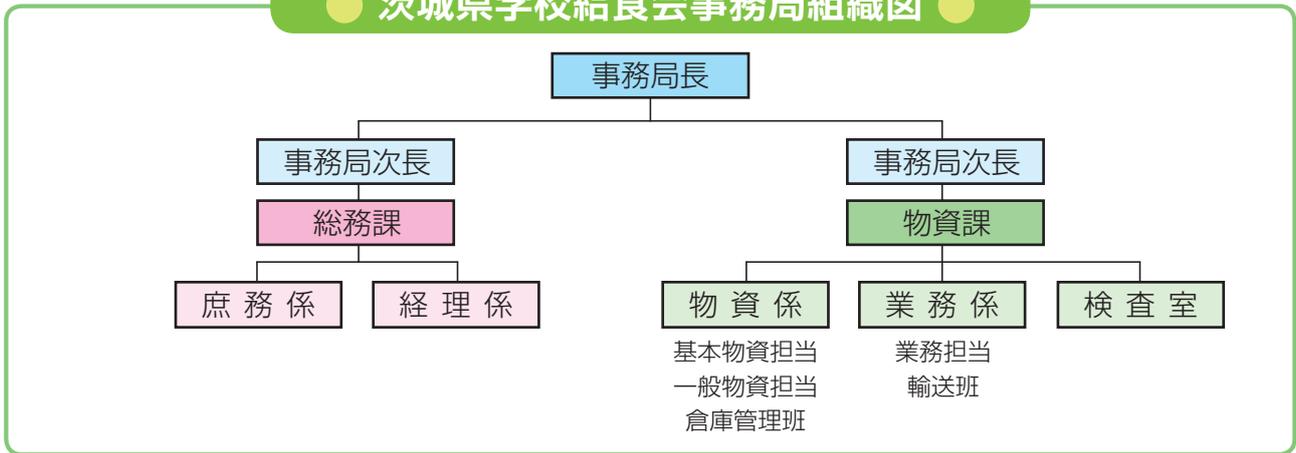
メーカー ロイヤルフーズ 規格 50g・60g

家族想いの食塩無添加
ケチャップカロリーーフ



メーカー コーミ 規格 280g

茨城県学校給食会事務局組織図



役員名簿

理事

氏名	所属・職名
荒田 玲子	常磐大学人間科学部健康栄養学科 教授
小神野あや子	土浦市立神立小学校 栄養教諭
園部 隆	公益財団法人茨城県学校給食会 常務理事
手塚 浩志	茨城県教育庁学校教育部保健体育課 健康教育推進室 学校給食担当係長
政安 静子	公益財団法人茨城県栄養士会 会長
皆川 澄雄	水戸市立第四中学校 校長
矢口 和美	茨城町教育委員会 教育長
山崎 裕	公益財団法人茨城県学校給食会 理事長
山本 主税	茨城県PTA連絡協議会 会長

監事

氏名	所属・職名
梶 智香	水戸市立吉沢小学校 栄養教諭
菊池 精一	水戸市立学校給食共同調理場 場長
米川 和久	米川和久税理士事務所 税理士

評議員名簿

氏名	所属・職名
會澤 香理	茨城県PTA連絡協議会 副会長 女性ネットワーク委員会 委員長
相吉 新一	茨城県学校保健会 事務局長
荒川 敏明	日立市宮田学校給食共同調理場 場長
上久保洋一	常陸大宮市教育委員会 教育長
日下部悦子	土浦市立第一学校給食センター 所長
久保智佳子	水戸市立笠原小学校 校長
氣田 利正	公益社団法人茨城県薬剤師会 専務理事
樋口 教子	水戸市三の丸小学校 栄養教諭
益子 雄行	茨城県教育庁学校教育部保健体育課 課長

平成 30 年度広報編集委員名簿

氏名	所属・職名	氏名	所属・職名
手塚 浩志	茨城県教育庁学校教育部保健体育課 健康教育推進室 学校給食担当係長	阿部 美佳	茨城町立大戸小学校 教諭 給食主任
田口 廣巳	水戸市立赤塚小学校 校長	鈴木 洋一	つくばすこやか給食センター豊里 所長
加藤 正子	ひたちなか市立佐野中学校 栄養教諭	須藤 志保	茨城県PTA連絡協議会 女性NW副委員長
宮田 雅巳	公益財団法人茨城県学校給食会 事務局長	山口 清美	公益財団法人茨城県学校給食会 管理栄養士

編集後記

56号の発行に際しまして、貴重なご寄稿ご協力を賜りました関係者の方々に対し厚く御礼申し上げます。

夏の猛暑に加え、秋の大型台風の襲来、大地震等で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。学校給食が提供されないためにカリキュラムを変更したり、午前中で帰宅となったりしました。本県でも台風に伴う停電のため給食施設が稼働せず、非常食の給食を実施した学校があります。計画通りに給食が児童生徒に届くことの重要なことや給食の大切さを実感しました。いつものことが当たり前にあることの裏側で、関係する多くの方々の継続した努力と、子どもたちに届けたいという願いがあるからだと思えます。

本誌を通して食育の取組みをお伝えしていきたいと考えております。「給食いばらき」へのご感想やご意見をお寄せいただきましたら幸いです。